

TANGE KENTOU CLUB

School
Rumble

Illustrations

Book



Rumbling
impact **double**

Adult Only



Strategy beginning.

RUMBLING "W" IMPACT

らんぶりんぐ・だぶり・いんぱくと

★まえがき★

初めての方ははじめてまして。
そうでない方はお久しぶりです。

今回もスクールランブルです！
前の本でも書きましたが、
やっぱりアニメは見れないまま・・・。
こんちくしょう！！

とは思いつつも原作は読んでいたしするので、
その面白さにあやかってみました。

コミケスペシャル4、レヴォファイナルと、
続けて出したのですが、
手に入らない！との声も多数聞き、
少しでも多くの人に渡れば・・・と思い、
今回は総集編です。
ちょっとページも足してみたので、
お楽しみいただければと思います。

暑い夏がやってきましたね。
今年は暑すぎて、もうヘロヘロです。
そんな太陽が嫌いになりたいする、
今日この頃。
つくづく体力が減ってきてますねー。
ま、何とか耐えますよ、あはは・・・

それでは、また巻末でお会いしましょう！

らんぷりんぐ・だぶる・いんぱくと

RUMBLING "W" IMPACT

～ CHAPTER.1&2 ～

RUMBLE IN THE BRONX

ラ>ブル・イ>ン・ブロンクス

READY TO RUMBLE

れでいーとうーらんびる。

★まえがき★

こんにちわ。
初めての方ははじめまして。
そうでない方はお久しぶりです。
ポカポカあったかくなってきましたが
私は24時間働いています。

ウソです。ゴメンナサイ。
24時間だったら体力もたないよ…。

という事で今回はスクールランブル本です。
絵柄がかわいくてとてもいい作品ですねー。
アニメもやってるみたいなんですが
そちらの方はまだ見た事ないです。
結構作画や動きも良いとの情報を聞くんで
一度見たいとは思っているんですが
時間の都合でなかなか…
お仕事イッパイイッパイ…。

と、愚痴ってもしようがないんで
前向きに頑張りたいと思います。
ポジティブシンキングって大事よね。うん。

※これは当時の前書きです…

ランブル・イシガ・ブロンクス

RUMBLE IN THE BRONX

播磨、唐突に修羅場。



お嬢…

な、なんだよ…？
話つてのは？



妹さん…？

f f 69 | a one & a two

Story: リヒャルトつづく
Art: 桐生蒼八



この娘と
どうなっているのか
ハッキリなさい！

はいや…
ハッキリも…
何も…



なっ
何を？

こーなったら…
これでどう！



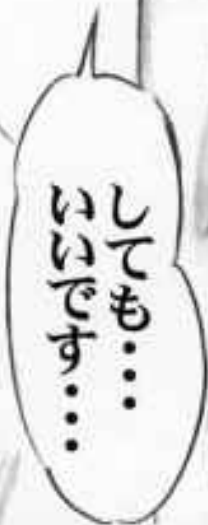
オオオオオ

あー、もおつ！
じれったいわね！





拳見、八雲でもう一戦。



播磨の台詞は「究極！変態仮面」風に叫べ



あつあ
いっ……く……



おしゅ

?

ミンは
ドウラ



オロ



ホラ!!
アンタも
行くわよ!!

全く、犯られ
損じゃない!!



なんで
アタシは
お尻なのよ!!

くっわ!!

——
フィニッシュはスパイラルDDT。



■ 沢近 愛理 ■

オレは金髪に弱い。
ハーフに弱い。
高飛車な性格に弱い。

そんなオレの弱点を見透かされたかのように、
全て持っている沢近。恐ろしい。
カレー作ってくれないかなあ。
肉じゃがでもいいぞ！

世の男はすべからく手料理に弱いものだ。
そうだよな。な、な、な？



■ 塚本 八雲 ■

八雲かわいいよ、八雲。

彼女の魅力は、ちょっとミステリアスなところ。
自分に好意を持っている人の心の声が見えるせいで、
他人とはちょっと距離を置きがち。
それでも成績優秀。容姿端麗。料理万能。
アンタは完璧超人か！と思うぐらいに出来過ぎてる。
そりゃあ男が放っとないうて。

オレも「枝豆とソーセージのパスタ」が
食いてええええええええええ！！！！！！（大炎上）

恋愛は聞いた！

by. リヒャルトつづく

アニメも佳境に入って益々盛り上がるスクラン旋風。
今回はその辺りについて検証してみよう！

まず辞書を引いてみましょう。すると…

☆ rum·ble

— n., v. ごろごろ、がらがら
(と鳴る、とどろく[かせる]):

(車が)がらがらと行く

: がらがら声で言う (out):

[米]-(自動車後部の)無蓋折りたたみ座席
(rumble seat):

馬車の後部の従者席[荷物席]:

[米俗] 決闘、けんか。

三省堂提供「EXCEED 英和辞典」より
詰まるところこの「School Rumble」というタイトル
直訳してしまうと「学校の闘い」となるワケです。

ちょっと見た感じでは、学園ラブコメものに見えますが
読みこんでいくと不条理ギャグ漫画ではないかと言う

疑問がふつふつと沸いてきます。

それがこのタイトルに込められている所でしょう。

「恋愛とは聞いた！」と。

フツー、ラブコメって言えば

「好きあつてる二人がくつつきそうにくつつかない」が

「付き合い始めた二人が、試練を乗り越えて成長していく」

のどちらかだと思うのですが。

ところがこのスクランではそうではない！

恋愛漫画にありがちな、好きのベクトルの方向が

各人バラバラだからだ。

しかもバラバラどころかどこ向いてるのかわからない人までいる。

それはまるで不良漫画に出てくるの

各校の不良同士に関係のようだ。かなりそれに近い。

(続く)

不良漫画だと、学校制覇→地域制覇→県内制覇→全国制覇
みたいな感じでお話が進んでいくワケです。

それは聞くべき相手がいて、それを倒す。という図式ですね。

しかし、これが恋愛漫画の場合どうなるのでしょうか。

もちろん倒すべき相手はそのまま恋愛対象となりえますね。

大きく違うのは相手を倒してしまうと話が終わってしまう点です。

「くっつきそうで、くっつかない」系のお話ではくっついてしまうと

そこでジ・エンドになってしまうので、それは不可。

すでに付き合っているなら、聞く必要もないので、それもありません。

スクランの場合だと、聞く相手同士が同意していないことが多いので
さらに厄介。それ以前に、聞くべき相手

この漫画では恋愛対象がハッキリしているのは

播磨と天満の二人のみなのも注目すべき点でしょう。

その他の人物は自分の気持ちに気が付いていない人たちです。

八雲や沢近などが典型ですね。

話がそれますが、実は花井もそういう人物だと思っています。

周防が好きなのは明白でしょう。

花井本人が自分の気持ちに正直になれば

八雲にも見えなくなるのではないのでしょうか。

閑話休題。話を元に戻しましょう。

恋愛の当事者たちが、自分の気持ちのみに目を向けて

周りが目に入らなくなって行く。

そんな青春の聞きの叙事詩。それがスクラン。

この聞きはいつ終わるのでしょ。

ネットでは諸説流れているようですが

どの例をとっても敗北者は出てしまいます。

フツー恋愛漫画ではなんとか救済策が取られるものですが

この分で行くと余ってしまう人物が出てしまいます。

そんな残酷さを影に秘めたところが

「聞き」に焦点を絞った結果ではないのでしょうか？

かなり強引に話を展開してしまいましたが

これが「ラブコメマンガ」のひとつの新しいカタチではないか

と思っています。

お約束的に、なし崩しに付き合ってしまう美男美女や

さえない男子がいつの間にかモテモテになってしまうなんて

そうそうありませんよ。むしろ「好きなんだけど

その人を前にしてしまうと言葉が出ない」とか

「こんなにアプローチしているのに気付いてくれない」とか

そんな非常識の中に存在するリアル感が受けた原因ではないのでしょうか。

ラブコメのようでラブコメでない。

ラブコメでないようでラブコメ。

それがスクランの魅力であり、良さではないのでしょうか。

強引にまとめてみました。

アニメも本誌の連載も今後の展開に期待して

筆を置く事にいたします。では、またお会いできましたら。

School
Rumble

を語ってみましょう

END



☆姉ヶ崎 妙☆

こんなおネーさんが
保健室にいるなど許せん！
オレが癒されたい。



School
Rumble

を描いてみました。

☆一条 かれん☆

エロくしてみた。裸とダンベル。
そこに漂うエロス。
技はかけないでください。

School Rumble

を描いてみました。

☆西本 願司☆

まさに「漢」
男子たるもの
かくあるべきである。
うむ。見習おう。

☆播磨 拳児☆

けっこうスギ。
なんかはわからないけど
拳法風。こんな感じもイイね。

やら

★あとかき★

※これは当時の前書きです…

如何だったでしょうか？

スクールランブル流行ってますねー。
こういうところで流行に敏感になれると
いいんだけど、もうオッサンなんで
ついていくのも精一杯です。

そういえば、アニメを見ていない
ところかゲームもほとんどやってないなあ…
買って遊ぶ時間がありません。
どんどん積み上がってゆくゲームの塔に
怯えながら暮らす日々。
どこかヒマがあれば遊びたいと
思う意思はあるんだけど…
一体いつになったらこの塔を崩せるのか
見当もつきません。ハハハ。
誰かたーすーけーてー！！

最近ちょっと体調が悪くなったりしてますけど
まあほちほち頑張ってます。
いろいろお仕事やっていますんで
もしそれっぽいを見かける事があれば
よろしくお願いします。

2005年3月・横田守

ランブル・インザ・ブロンクス

RUMBLE IN THE BRONX



～当時のおもいで～そのいち～
・コミケスペシャル4で出したスクランキー一巻目。
・沢近と八雲のお子様ランクススペシャル！
・会心の出来！
・自分で張めるなよ、照れるぜ。

思えばすごい人出と、タイムスケジュールの
違いに悩まされましたねー。
いつもなら家籠の所を、西廻りだったので、
その違いにも悩まされました。
ただ、いつもとは違う雰囲気、
素晴らしい空気の違いが面白くもありました。
こーゆーイベントなら、また参加したいですね。



八雲



サラ

今日イロイロやろうとして、
イマジネーション高めていた一部
うーん、結局形にしきれませんでした…



高野



そしてカレリン(笑)

※これは当時の前書きです…

★まえがき★

- 初めての方ははじめまして。
そうでない方お久しぶりです。
- 寒い冬も過ぎ、めっきり春らしくなってきた
昨今ですが、いかがお過ごしでしょうか？
- …と前置きはそれぐらいにして
今回もスクールランブル本です。
前回のコミケットスペシャルで出した本が
好評だったので、今回もあやかってみました。
しかしながら、相変わらずアニメは見れません…
「出来いいよ！」って評判を聞く度に
アニメ見たいなー。とは思いつつも…
見れないままです…。
単行本だけが僕の友達ですよ！！
- そんな単行本知識のみによるスクラン本
お楽しみいただけましたら幸いです。
- ではでは、また巻末でお会いしましょう！

めでいーとうーらんぶる。

READY TO RUMBLE



School
Rumble

ff96 | LOSING ISAIAH

Story & Art : 桐生蒼八

周防。揺れ動く

みんなの
手前……

なんだね？
こんな夜中に？

わあああつ！

そういう
素振りしたけど……

な……なんか
寝つけなくてな

体、動かせば
……と思つて……な

さすがに
……そう簡単には……なあ

組み手なら
付き合うぞ？

あ……？
ああ



すつきり
したんじや
ないのか？

迷いがあるな
…ケガするぞ

やっぱ…
私じゃダメかなあ

でも…

そんな簡単に
ふつきれないよ…

なあ…
こういう時は
男だったら…

傍に来て…
なくさめてやる
…てのが
フツーだろ？

こんなに…
想っていたのに
なあ…

わっ！

ちよんよー！
聞いているのっ？

私…だって…

寂しい…んだよ…
慰めてよ…

汗で…
透けてる…

あ…



しょうばいな
汗……
かいたからな

もう……
ダメえ

大きい……
弾けそうだ

周防……
もう……挿れるぞ
膣内に……

あつ……ああ
挿入して……る……
膣に一杯に……

花いつ……いい
ふあ……頭が真っ白く
なっちゃう……

気持ち……
いいよ……いらい！



はあっあ
いつ…イクラ
イクツ…!

ひい…ああっ

なあ…
片想いつて
ハシカみた
いなもん
かな…?



きつと
明日からは
…

大丈夫
…今だけ

働かない
…が

どいて…
くれない…か

—我慢するのが男の優しさ。



■ 周防 美琴 ■

おっぱい格闘家。

(^・v・^)^u ≧ おっぱい! おっぱい!
C ≧

何気に花井とくっつきそうでくっつかない
お互いに意識があるのに (無いのか?)
嗚呼、その距離感がもどかしい!!

なんというか、彼女の魅力はその気の強さや
裏返しの優しさな所にあると思うのですよ!
そんな周防に僕もア+タもメロメロさ!

School Rumble を語っていきましょう

スクールランブルを
知らずに〜僕らは育った〜♪

文責：ゆげた静なゆ

・えー…何故僕がテキストを書いているのでしょうか(；´Д´)
とそれはさておき、ホントにスクールランブルの事を殆ど知らない
僕が書いちゃんてもいいんですけどね！？…いいんですけどそうですが。

・前置き通り、僕はほんとにスクールランブルを知りません。
マジデマジデ。今回の事をきっかけにちょっと読んでみました。
とりあえず、読んでみて一番最初に思った事は
「…主人公って誰？」この一言に尽きます。

・とにがくめまくるしく話の展開が移動してゆき、核になる人物が
各ストーリー毎に変わってきます。
最近の展開から見ると播磨が主軸になっているとは思っていますが…。
最初はちょっとついていけない感じだったんですが
読み込んでゆくにつれ「ああ、なるほど。」と
ちょっと納得してしまいました。

・と、このも、それぞれの性格付けや表情がストーリー毎に
表現されていて主役・脇役の存在が渾然一体となって世界観を
作り上げていっている、というその事実気付いたからです。
本来、お話の流れを作る上で必要なのが「主人公」という
メインになるキャラクターなのですが、このスクールランブル
いわば「全員が主役」なのです。
いってしまえば、それだけ魅力的なキャラクターが
お話を構成して動かしている作品だと思わなければいけません。はい。

・と、ちょっと堅苦しめな話になってしまいましたか
やはりマンガは読んでナンボです。
今まで読んでいながら自分が恨めしいと思いつつ
これからはちゃんと読もうと心に誓った20歳の春でございます。
あ、一番の萌えキャラ(既に死語っぽいけど…)は八雲で！
この娘がいわねえ！！
播磨も早く八雲の魅力に気付いてくっついてしまえばいいのに！！
あーもう！！

…すっかりハマってしまいましたとさ(´▽´)ノ



■ 塚本 天満 ■

ポケでもツボは押さえる天満ちゃん
ナース姿も三ツにミスカの“えろえろナース”
でもせつて〜こけて見える
そ〜いうキャラだと思いでえ…いやそうである。
by 桐生蒼八



Outrage of the Night School

School Rumble

Short novel

Text by : ななせ

「んっ、はああつ……いや、やめて……はあ」
「生意気言ってねえで、しゃぶれ……んっ、沢近さんの口、いいぜ」

綺麗なブロンドの髪の毛を掴まれ、無理やり膨張した物を口に押し込まれる。

「んちゅっ……んっ、んむうっ、ちゅるっ、いたっ……イヤっ、やめてっ！」

「何言っただ、楽しいのはこれからだろ？」

ずんずんと無遠慮におま○こを攻める男の動きは激しくなった。

破瓜の激痛と快感……そして痴態を傍観される事で身体が熱くなる。

「はああ〜っ、あんっ、お、真に……ううっ、はあっもうイヤ。た、助けて……っ！」

だが自分達以外いない夜の学校で、救世主など現れてくれるはずもない。

「くっ、ほらっ……口はこつちだろ？ 頭いいんだから、いい加減学習しろよっ！」

「んぐっ、んんうっ……ちゅるるっ、ちゅっ、はあ、んんんっ！」

「そうそうっ……沢近さん、しっかり学習してるじゃん。いいぜ」

「こつちもだ……初物だから締まる締まる。すげえ……丸見えだよ、沢近さんのマ○コ」

「んうっ、んんっ……はああつ、あんっ、い、イヤっ見ちゃ……あああつ！」

「今さら何言っただ……俺達のでドロドロにされておいてさ」

ベニスに押し広げられたおま○この中でさらなる膨張を始めた。

「はあっ、むうっ……んんんっ、イヤ、はああつ、あんっ、あつ、あつ、あーっ」 むぐうっ、んんんっ！」

男達の勢いはさらに増し、それに比例して身体に苦痛と快感が走る。

「おらっ、いくぞっ……いつばい出してやるよ、また……中にな」

「あああつ、いやっ、いやっ……いやああつ！ もう、中に……くずん、出さないで……お願いよっ！」

「おらっ、いくぞっ……んっ、くうっ」

「あつ、い、イヤ、い、いくつ……いつちやうつ！

い、イヤつ、あああ～～～つ！」

深々とおち○ちんを飲み込まされ、熱く苦い液体を同時に吐き出す。

行為が一段落した事をキツカケに、恐怖で震えが止まらない身体を抑えながら男達を睨みつけた。

「ほらつ、飲めつ！ さつきみだいに戻したら承知しねえぞ？」

「んうつ、んつ……ごくんつ、んうつ、はあ～……苦い…わ」

「へつ、まだ口はへらねえか？ それでこそ騷り甲斐があるってもんだ」

「ううつ……こっちもマ○ゴに出してやったぜ、たつぷりだな」

「はあはあ、はあ、はあ……はあ、はあああつ、き気持ち悪いわ」

「気持ち悪い？ 気持ちいいの間違えじゃねえの……ここは欲しがってるみたいだけど？」

「あつ、あくつ……はあ、い、ああつ、イヤッ！」

「ほらなつ……気持ちいい声出してる。さつきなんて、思いっきりイってたくせに……」

「そんな事ないわ……ああつ、はあつ、誰がアンタ達なんかにっ！？」

「色っぽい顔しながらギュウギュウ締め付けてくる姿なんて……可愛かったなあ」

「……くっ！！」

「今度はこの可愛らしいアナルもいじめてやるよ」

「おいつ、早く代われよ……後は支えてんだからな」

男達の蹂躞は入れ替わり立ち代り……凌辱は続けられる。

私はただ播磨君を待ってただけなのに……

あのラブレターがウソだったなんて……でも、もういいの。

「熱いのが、欲しい……もつと、もつと欲しいわ。私をもつとめちやくちやにして……

いいから、だからもつとお～」

私はいつの間にか、この快樂に酔いしれていた。

To Endless . . .

Outrage
of the
Night School

School
Rumble



★あとかき★

如何でしたでしょうか！？
お仕事の件もあり、とりわけ今回は
スケジュール的に厳しかったです…。
気がつけば早いもので
レヴォもファイナルとなりました。
今までお世話になったイベントだけに
感懐もひとしおです。

今までどうもありがとうございました！

そうそう、春先になってからというもの
鼻がムスムスしまくりでして
遂に花粉症デビュー！かと恐れていたら
只の風邪でした…。

皆様もお体には十分に気を付けて下さい。(笑)
それでは、またお会いしましょう。

2005年4月・横田守

※これは当時の前書きデス…

れでいーとうーらんぷる。

READY TO RUMBLE



～当時のおもいで・そのに～
・レヴォファイナルで出したスクラン本第二弾、
前回は1番人気で、いもこ取りをした後に悩むハメに、
監内会議の結果、美琴でゲイアー、
やはり「D」には勝てません、
もしかしたら、それ以上争いかも……。

イベント自体はやっぱり最境とあってか
こちらもすごい人出でした、
あの活気についていけない自分にブルーになり、
久しぶりのレヴォがファイナル……、
もう少しイベントにも出たいんだけどおー、
頑張ります……。

こちらブラボーⅡ
Cブロットにて
ターゲットの捕獲に成功。

これより
パーティーを開始
オーヴァー!

ff 1919 PHASE FOUR

School
Rumble

Story & Art : 桐生蒼八

さて・・・
お楽しみだ。
俺達はこっちが
本命だがね。

おれ達は文化祭なんて
どうでもいい
かはっ…

はあ…はっ

あんたを
森ればなっ！
さあっ、睡えろっ！

ひっ！

おれ達は
雇われたのさ
……そう。

この勝負の
成否に関わらず
塚本を森す…
そういう条件なのさ。
人質役も兼ねてな！

あー、胃液が
あつたけえ

マジいいわ

塚本の
ロン中さ

んぐっ

あへん、あへん

いつも、人の事を
避けるように
逃げやがって！

苦しいだろ？
き、出してやるよー！

げほ…

か…は…ああ…

おーっしゅっ！
一番乗り頂きィィ！

いやっ！
止め……っ！

やっ！
いやあ……

んな事言われて
止めるかよ！
オラっ挿入ったあ！

お願い……
いやあ……

ああ……

出たり
入ったりすんのが
見えるだろオ？

オラッ！
腰使えってのー！

早くしないと後が
つかえてるんだぞー！

あーもう
たまんねえなあー
お口がお留守だっ

こっちの穴は
どっかな…？

一度齧ってみた
かったんだよね

お願い…
いやあ…

うっ！
輪っかな

ひゃひゃ
ひゃひゃ…

ひゃひゃ

イヤあつ
あああつ！


うめっ、が…
でっけいっ！

ひんっ…

あー、屋内に
出しやがって…

オイ！次だ！
休んでいる
ヒマ無いぞっ！

あ…ああ



なあ、このゲーム
俺らで乗っ取ら
ないか？

クライアントを
裏切るのが・・・
まあ、我々の
目的は達したしな

それも面白いな…

残る強敵の
花井、播磨の切札は
こちらにある

ハハハッ
勝利の暁には
嫁本姉妹も
アリだなッ！

狂乱の夜。ジャマする者は地獄に落とせ！

よしッー直ちに
決行すのッー！

ひあああッー！

屋上を襲撃。
花井・播磨を
制圧するッ！

装備の確認と
人員確保急げ！

ね…
姉さ…ん…

見張りっ！
人質逃がすなよ！

成功・無事帰還の際は
再度パーテイーだ！

目が覚めるとそこは闇の世界。播磨はよく状況が飲み込めなかった。しかし、しばらくするとおぼろげな記憶も甦り、自分が文化祭の準備の途中でねてしまったことに気が付いた。

『やべよ！ かなり寝ちまったようだ。電気も落とされたみたいだし…ムニユ』

床に手を付いて起き上がろうとすると、手は床ではなく別の何かを掴んでいた。

『何だ…って、お嬢！ 何でここに！』

よくよく目を凝らせば隣に寝ているのは沢近だった。

『…う、うん…』

そのあまりの状況に、ようやく頭に血が通ってきた播磨であった。とにかく沢近を起こして学校を出ないといけない。そう思い、沢近の肩を持って揺り動かす。

『お嬢！ お嬢！ 何で降で寝てるのかわからねえが、早く起きないとヤバイぞ！ お嬢』

お嬢！ 全然起きねえな… あっ、うおっ！』

突然の事にさすがの播磨拳見でも対応が取れなかった。思いがけず下から伸びてきた両腕がごつちりと首を掴まれていた。

『お、お嬢！ やめっ！…』

『んむ…』

喋ろうとする播磨の口は突然迫ってきた沢近の唇で塞がれた。

従って沢近を押し退けようとするが体に力が入らない。

播磨はなおも懸命に逃げようとするものの、沢近の舌はそのまま播磨の舌へと違い

吸いついてきた。オマケにいつの間にかマウントポジションを取られている。逃げ

られない。

上になった沢近は、播磨の口に侵入させた舌で播磨の口腔をまさくっている。ゆつたりと舌は何か別の生き物のようだ。

沢近からはほんのりとアルコールの香りがした。

『おじよっ！ お前、酔ってんのか？ 何で学校で！』

『ん？ ふふー。冗談言わないでよ！ この私がお酒なんか飲むわけないじゃない！』

『とにかく、な、どりあえず目を覚ませよう！？ かな？』

『黙りなさいっ！ えいっ！』

そう言って再び沢近は唇を押し付けてくる。

一気に酒のおいが充満する。

しかし臭いとは思わない。

むしろ甘ったるく感じる気がした。

『ふ、む、はふう、んんん』

絡みつくような長いキスが終わったと思うと、沢近の舌が頬や首に回る。

子猫のように全身を舐め回る沢近の姿は、普段とは違う暗くなった教室の雰囲気と相まってとても淫らだ。月明かりに照らされた肢体がしなやかに動く。

『あ、うわ』

一瞬沢近の体が離れたと思うと、播磨はベニヤで作ったセットに押し倒されていた。

それは刺で使う予定のベット。また、マットを引いていないのでむき出しの板のままだ。

そこへ押し込まれた勢いで後頭部を打ってしまい軽い眩暈を起こす。

何が起きているかわからず思考が奪われた数秒の間に、沢近は播磨のスポンから早くベニスを取り出した。

そして播磨の腰にまたがった沢近は自らのブラウスのボタンを外していく。

良く熱れた果実のような乳房が露になった。

綺麗な桃色の乳輪の先にある乳首は既にツンツンと上を向いている。

沢近は妖艶に微笑むと、播磨の首筋にキスをしながら

既にボンギンに勃起したベニスを優しく手で撫でてまわしてくる。

暖かく柔らかなその感触に播磨のベニスはすぐに限界まで硬直する。

『はあはあ、んっ。大きくて… はあはあ… 熱い』

なぜか沢近は手馴れた様子で、唇から唾液を播磨のベニスに垂らしつつも手を動かすのをやめない。

沢近の唾液、播磨のベニスをシゴクにちやにちやとした音、汗を掻きながら揺れる乳房、その全てが播磨にとって濃しおたる刺激であった。

『あ、ダメだお嬢。それ以上すると…』

『はむっ、んっ。ふふっ、私の… 手の中で… こんなにビクビクしてる…』

播磨の指摘を軽くスルーしつつも上気した表情で見つめながらも、手はリズムカルに播磨のベニスをしこいている。

『うっ、お嬢ホントに… もう… 出らまう！ 止めてくれ！』

『ふふっ、まさか手だけでイっちゃうの？』

淫らな表情で囁く沢近は、いつの間にかベニスをヴァギナにこすりつけて素股のような体勢を取っていた。

『それになんてお嬢、パンツ履いてないんだ！？』

『お嬢… じゃダメよ… んっ、今は『愛理』って呼びなさい。』

『ないよ… はあはあ、やめちゃう… わよ』

喋りながらも自ら腰を使って淫音を響かせる。

すでに十分すぎる程潤っている愛理のヴァギナに挿りつけられ、まるで数内に挿入している様なめりめりと暖かさは、播磨から抵抗する理性を奪う充分過ぎるほどだった。

『クソっ！ もう、どうにでもなれ！ だ！』

『あっ、あっ。グリっ、ちんぽがこすれて… んんっ！』

『ん、はあっ！ イクっ！ 愛理、イクぞっ！』

『あっ、出、出して、愛理に、せーえき出してえっ！』

・ ショートノベル ・

SEVA
THE SEVA INSIDE

txt by: まつひまひふみ

School
Rumble

THE SLUT INSIDE

その卑猥な言葉に、播磨は著しく反応する。
そしてこみ上げるものが抑えきれなくなった播磨が、低い呻き声をもらす。
『あっ！』
両腕の狭間から播磨の精液が勢い良く放射され、その熱い精液は一線を描きながら又近の肢体に付着していった。胸や腹部に流れる白い軌跡。
『…はぁぁ、熱…い』
息を乱しながら、又近は自分にかかった精液を絡めどる。
『ん…。ニガくて…美味しい』
又近は指に絡めた精液をこくど喉を鳴らして飲み込み、クスリと笑うとまた射精後の精液が絡みつく播磨のペニスに手を伸ばした。
『ふふ、まだまだ…元気ね？』
又近は妖艶に微笑むと、見せつけるように股を開き播磨のペニスを片手でささえ花卉にあてかう。ペニスを持ち自分でオナニーでもするように擦り付ける。
また、絶頂に達していないのであろう又近の花卉は蜜を滴らせながら熱く蠢いている。ゆらゆらとした感触、まるで何がゆつくりと取り込まれていくようだ…
今まで感じたことのない暖かい感触を覚えたその瞬間…
『くっ、んあぁあぁあぁっ』
播磨のペニスは何の抵抗もなくスプリと根元まで飲み込まれた。
受液で潤っていた又近の腔内は柔らかに熱く脈動し、播磨のペニスを包み込む。
『んっ、どうっ？私の…く、な腔内はっ！？』
患處っぽく播磨に顔を寄せながら又近が話し掛ける。
その吐息が播磨の鼻を擦り、一層気分を高揚させていく
『あ、暖かくて… すげえ…気持ちいい』
余りの気持ちよさに何もなくても腰が浮いてしまう。
腰が浮くとペニスは子宮をつつく形になり、龜頭の先をチョンチョンと軽くつつく感触が広がる。思わず又近は体をよじる。それが、また新たな快感を生み出す。
『くっ、んっ…はぁっ！ 気持ちいい？ 八雲…よりもう？』
『八雲』という言葉が出た途端、受液の結核がキュッと絡まる。
『うっ、そんな…キツく…』
播磨のペニスに又近の内壁の圧力が襲い掛かる。
まるでミミズが動くような感覚に唸り声を上げる。
『妹さんとは…何も…無…はっ』
答えながらも、射精感をこらえる為にも歯を食いしばり腰を打ち付ける。
『くっ、はぁ、本当…に…？』
又近は腰をさらにキツく締めあげる。
その感触に反応して力を弱めても、淫らな感覚が薄れていくのを恐れ、播磨はまたすぐに奥へと突き上げる。
それを持っていたがように又近は何度も播磨のペニスを絡め付けて弄ぶ。
リズムカルに交錯する身体と吐息が見え、気が付けば播磨は返答する事もできず無我夢中で腰を振り続けていた。
『んっ、くっ、な、中で脹らってる…っ！』
— グシュッグシュッグシュッ！
最初は腰を動かさずに、腔圧だけで食っていた又近だが、腰を振る播磨に合わせるように、徐々に腰が動き始め、淫靡な水音が室内に響き始めた。
グシュグシュッという鈍い響きが徐々に激しい粘液の音に変わっていく。
『いい…あぁ、もっど、もっど深く…奥まで、あっ、くん！』
『受液、受液っ！うおっ！もう、ダメさうだっ！』
『あっあっ、ん、もう…出したい…の？ 射精したい…っ…の？』
播磨だけに見せる又近の淫顔が播磨の網膜に焼きつく。
もう理性の我慢が効かないところではない、手コキの数倍の快感が播磨を焦がす。
『いいっ…わよ、私の…腔内につ…んふっ！くっあっ！あっ！』
『くあ、受液このまま…このまま出すぞっ！』
『イづく…いそぎ…お願い…もっど奥に…んっ、お願いっ！』
前れ落ちそうになる受液を抱え更に突き込む。
その体制が、又近の腔奥、子宮口をこし開け、播磨の龜頭を完全に包み込んだ。
狭い腔口の奥、もう一つの口で播磨のペニスを挟み込む。
『くっ、かっ…はっ』
まるで、何かで扱われているようだ
『あっあっあっ、イイっイイっ』
ビクビクと受液の体が跳ね、同時にすさまじい腔圧が播磨を射精へと導く。
狭い腔内に播磨のペニスは止まることを知らずに激しい鼓動と同じペースで精液を放出していた。
『くっ…はっあぁ』
『んっ…こんなに…いっぱい…』
軽く腰が抜けてしまった播磨はぐったりとしてしまう。
『もう、ダラしがないわねえ…』
また眠りに落ちてしまった播磨を見つめる又近の表情は、さつきとは打って変わって優しいほやかな顔だった。
しかし、それを見ていたのは播磨ではなくレンズであった。
『予想通りの良さだわ、受液！これで大ヒット間違い無しよ！』
セーラー人唄ながら、高野晶はビデオカメラを操作して、先程までの二人の痴態を収録するのであった。
そして又近と播磨の密会現場映像は、誰にも知られることなくネットに流れ大好評を博すのであった。

end.

School Rumble を話ってみましょう Evo.3

スクランの明日はどっちだ！？

～深夜のフュニレス同級生 THE3巻編～

リヒャルトつづくVS横田守 VS 桐生蒼八

リヒャルトつづく(以下リ)「三姉妹会議い～♪ と、言うワケで『スクランはイーネっ！』会議を始めたいと思いま～すっ！」

横田守(以下横)「(無視して)あ、オレは手ごねビーフグリルハンバーグステーキを洋風セット。あと、若鶏からあげ。それと、食後にチーズケーキフルーツ添えを。」

桐生蒼八(以下桐)「オレはハンバーグと大海老フライを和風セット。」

横「オマエも早く決めろよ。ウエイレスさんが困ってるだろ？」

リ(しばし絶句)……じゃあ、特製ステーキ丼を あとドリンクバーを3つ。ハイ、以上で。(気を取り直して)じゃあ、早速スクランについて語りまひょう！……って誰もいないじゃん！！<そよ、オレもドリンクとってこよ……>

—中略—

リ「飲み物も行き渡った所でじゃあ、スクランについて語りまひょう！」

横「一条がれんガイイ！以上！」

桐「オレは何でもイーや。」

リ「それじゃあ、座談会の『せ』の字にもならないですまね！何か語ってくださいよあ～。」

横「それなら、言い出しっぺのお前から語れはいいだろう。」

リ「オレは最初はズレたラブコメだな～くらいにしか思ってなかったんだけど。沢近がちょっといいかな？くらいで。ところが入雪が播磨と遭遇する夏休みの辺りから、こーヒートアップしましたねえ。」

横「ふーん。て？」

リ「(テーブルを叩きながら)3巻くらいから、なんかこー、面白くなってくるんてすまね！(炎上)特に播磨が沢近に誤爆告白した辺りから。」

横「ああ。あのシャインニングウィザードの回な。プロレス技はアレと、あとは一条がれんのジャーマンスーパーレックスと、フランケンシュタイナーくらいだったよな。希望としてはタイガードライバー'91とかリストラッチ式エクスポイターとか、あとキャプチュードとか出せないのかな？」

リ「全部キケン極まりない技ばかりじゃないですかあ！しかもわかりづらい。あ、魔神園車固めとかもイイですまね？」

横「オマエの方がキケンなヤツじゃねーか！それとテーブルを叩くのはやめろ。」

リ「はあーい(鎮火)。」

横「て、オマエは誰が一番なんだ？うん？」

リ「それは八雲ですよあ！八雲がいれば地球は平和になるんですよああああ！！
(大炎上)」

横「だから、テーブル叩くのはやめろって言ってるだろ！！恥ずかしい。」

リ「(聞こえていない)一番が八雲なんですが、沢近も捨てがたいんですよあ！あのお嬢様のツインレ具合がね？こら、グッと来るワケなんですよあああ！(またも炎上)」

横「はいまじっかん「デザート持ってきてください！」

リ「ひどいじゃないですかあ！人の話を聞いて下さいよああ！」

横「だってオマエうるせいでしょだもん。テーブル叩くし、て、どのくらいスクランに
お布施したんだ？」

リ「キャラクターシングル全部(8枚)と、OPとEDのシングルと、サウンドトラックと
DVD全部と……」

横「わかった、わかった！全部持ってるってんだな！オマエがスキなのは分かったよ。かわいい子だね……」

リ「ひどい言い草ですわねえ。」

横「ま、ハカは放っておいて、スクランって合間合間に映画のパロディを入れてるトコほんがちょっと面白いな。」

桐「リオンもやってたしなー。」

リ「わーちょっとビックリ！食べ終わったのね。あ、アノ播磨ガデザートホルダーの2丁拳銃で打ちまくるヤツね。」

桐「ホントはベレッタ92Fのカスタムだけだな。そのサブゲーのヤツだと、あんまり面白い銃は出てこなかったなあ。」

リ「しょうがないじゃん！エアガンになってるのでそうそう珍しい銃はないよ。でも、天満が持ってたのはあんまり使わないヤツだね。」

桐「アレはGM系だろ。スライドストッパーの形で分かるじゃん。」

リ「そんなカンタンに答えないてくださいよあ！」

横「銃の話はそれくらいにしておきなさい。長くなるから。それはともかくスクランって、ジャンルが捉えづらいマンガだよな。」

リ「それはありますねえ。」

横「そうなんじゃよ。なので、分かりやすいように「男塾」キャラに例えてみようじゃないか。」

リ「なんでそうなるんですか！全く…ブツブツ。じゃあ、播磨は富樫ですかね？」

横「いや、虎丸だろ。んで、花井が田沢。西本願司が壬天火。」

リ「うわ！偏ってるし他は無いんですか！沢近が飛燕とか天満が秀麻呂で、ララガJとか。」

横「くわっ！(目を見開き)見えた！八雲は大学院邪鬼なのじゃあ！」

リ「ひてえ！あんまりですかあ！」

桐「これがこの世で最高最後の真空残園衝だ——っ！ってな感じで対談もオシマイだね。」

横「(語りながら)うむ。さて、仕事に戻るぞ。」

リ「わーん！何にもイイこと言えてないのにいいいい！」

～劇・終～

School
Rumble
を語ってみましょう Evo.3

★あとかき★

如何だったでしょうか？
今回は「総集編」ということで、
単なる「総集編」にはしたくなかったのに、
ちょっと頑張ってみました。
てへ☆

最近、放送しているアニメが多すぎて、
ほとんど見れてません。
マンガだけは読んでるんですけどねー。
たまに、パッとつけたTVでちらっと見るぐらいです。
こうしてオッサンは流行に遅れるのね。
いやいや、
まだまだ頑張りますよ！！

今年は暑過ぎて、
身体がバターのような気分。
早く涼しくなるといいですねー。
暑いのは苦手なんで、自分。
つくづく文明の利器の恩恵に感謝する日々です(笑)

では、またお会いできるの事を願って……

2005年8月・横田守

らんぷりんぐ・だぶる・いんぱくと

RUMBLING "W" IMPACT

らんぷりんぐ・だぶる・いんぱくと

RUMBLING "W" IMPACT



奥付

発行: 丹下拳闘倶楽部

印刷: JC2



Rumbling ^{double} W impact

School Rumble Illustrations Book

TANGE KENTOU CLUB